

2020 年度 事業計画書（抄）

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

1. 顕彰事業

① 大川賞

情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献をされた方を表彰

- ・ 原則として国内 1 件、海外 1 件の合計 2 件程度
- ・ それぞれの受賞者に対し、賞状ならびに副賞として金メダル、賞金 1,000 万円を贈呈
- ・ 募集は候補者についての推薦を公募するものとし、大学、研究機関及び、学会等に推薦を書面で依頼すると共に財団ホームページにも掲載し、インターネット上でも公示を行う。また、審査委員が推薦する候補者についても、審査の対象に含める。

② 大川出版賞

情報・通信分野に関する優れた図書を表彰

- ・ 原則として 2 件程度
- ・ それぞれの著者に対し、賞状ならびに副賞として銀メダル、賞金 100 万円を贈呈
また、出版社にも賞状ならびに賞牌を贈呈
- ・ 募集は候補図書についての推薦を公募するものとし、大学、研究機関及び、学会、出版社等に推薦を書面で依頼すると共に財団ホームページにも掲載し、インターネット上でも公示を行う。また、審査委員が推薦する候補図書についても、審査の対象に含める。

2. 研究助成事業

① 情報・通信に関する研究、調査等の助成

情報・通信分野に関する調査・研究に対する国際的な助成

- ・ 国内外の研究者に対し総計 30～40 件程度
(国内 20 件程度、米国 6～8 件程度、中国・韓国 7～8 件程度)
- ・ 1 件につき 100 万円（米国は 1 万ドル）を贈呈

② 情報・通信に関する研究、会議開催等に対する助成

情報・通信に関する学会、各種研究会や研究グループ等に対する助成

- ・ 上記について 1～2 件程度

③ 研究助成成果の公開

- (1) 研究助成による研究の成果については、研究成果報告書の提出を求めると共に研究者の同意を得て公開し、情報通信分野の研究者の便宜を図る。
- (2) また、研究成果の概要は、「民間助成研究成果概要データベース」に登録し、国立情報学研究所等により、インターネットを介して広く一般に公開する。
- (3) さらに、当財団において「研究助成成果概要集」として発行し、関係者に配布する。また、web からも積極的に情報の公開を行う。

3. 贈呈式の開催

- ① 大川賞・大川出版賞・研究助成贈呈式の開催
- ② 米国研究助成贈呈式の開催

4. 研究交流会の開催

5. その他の事業

- ① 財団事業に関する広報、出版物の刊行等